

『木漏れ日の中で』 寸評

- ・かなり苦労したとおもわれる
- ・メロディ 4小節ごとにためいきがきこえる (←m.4,8,12の休符)
- ・自分で書いている音を正確に認識できていない気がする
- ・パート数が多くなるとドンドン手こずってしまう
- ・タイトルは可もなく不可もなく

完成度をさらに上げるために

- ・各パートの音高を確認するため、いったん大譜表に全パートを書き出そう
- ・たとえばm.1-4では次の指摘ができる

♩ = 80 **Largamente** 豊かに

- ・旋律線をさいしょにできればほぼ全体にわたって決めてしまう
- ・それからベースとともにあるていど和声のあたりをつける
- ・そしてメロディにそぐう伴奏形でベースと内声を配置

メロディをそのまま生かした別アレンジの例

m.=measure 小節番号のことです。
b.=beat 拍のことです。

×リハリがつくと作品の個性がはきこえます

持毫 勉